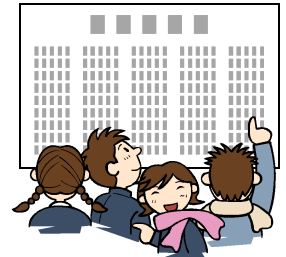


私立高校選びはけっこう大事～夏休みに家族で話そう～

夏休みが終われば、学力分析テスト、そして第1回到達度テストが10月、第2回到達度テストが11月に、自分の進路を決めていく重要なテストが続きます。当然、12月の三者面談に向けても大切なテストです。夏休みの三者面談では6月の実力テスト結果や一学期の成績等を参考に担任の先生と志望校について話しをしたいと思います。まだまだ漠然としていて、どの方向に進むか、何をやりたいのか等迷っている人も多いと思います。でも、自分の進路目標を決める時期になってきました。第1回進路希望調査や個人面談でもそうですが、第1志望の公立高校についてはすでに決めていて親子ともに意見が一致している人が多いように感じました。でも私立高校については、決めきれなかったり親子で意見が違っている人が例年多いように思います。これは・

- ①第1希望は公立高校だから、どうせ私立には行かないから・・・
- ②私立高校は数が多くて、どこにしているのかわからない・・・

という理由があるからかもしれません。①の理由の人は、公立高校を第1希望としている人、私立には行かないと決心している人でしょう。でも「100%」という保証がないのが入試です。「一発勝負」で良い結果が出せればいいのですが、緊張をして実力を出せないということもあるでしょう。そういった理由で安心して公立高校を受験できるようにと、例年公立高校を第1志望とする人のほとんどが私立高校を受験しています。



もしかしたら行くことになるかもしれない私立高校ですから、そういう意味では、「どうせ行かないから」と適当に選んだり、「すべり止めだから」という安易な気持ちで選んだりするべきではありません。

「公立の第1志望」「筑後地区私立の第1志望」「日田地区の第1志望」というような考え方で高校を選ぶことをおすすめします。「落ちたから次」ではなく、**すべてが第1希望**、「できれば公立がいいが、自分が選んだ高校の中から私立でもどこへ行ってもがんばれる」という決意が大切だと思います。

さて②のような場合の人は、自分の個性を生かして、自分の夢の実現のために一番合っている高校は・・・?という考え方で決めていくのも一つの方法です。浮羽中は交通の便が良いとは言えないので、どうしても日田地区、久留米地区の私立高校が中心になります。それだけ選択できる高校が少ないということです。だからこそ、よく高校のことを知り自分に合った高校を選んでください。夏休みを充実したものにすることも、しっかりと自分の進路と向き合い、自分の目標を家庭でよく話し合ってください。そして、学力分析テストや第1回到達度テストに向けて、今まで以上に、しっかりと努力をしてください。

第1回進路希望調査から(公立・私立 第一希望の数です)

高校名	人数	高校名	人数
浮羽究真館	24	藤蔭	41
浮羽工業	14	昭和	20
朝倉	11	祐誠	4
朝倉光陽	5	信愛	3
朝倉東	4	筑陽学園	2
久留米筑水	3	久留米学園	5
久留米	1	九産大九産	
明善	1	佐賀学園	
三井	1	長門	
三瀨	2	小郡特別支援	
南筑	8		
久留米商業	7		
久留米高専	4		
日田林工	1		

「夏を制する者は受験を制する」
 ①毎日規則正しい生活をする。朝寝、夜更かし、夜遊びをしない。ゲームは時間を決めて、はじめをつけてやろう。
 ②食事栄養もとる。3度の食事をしっかりとる。
 ③一日最低5時間の学習を！夏の生活だけではたりません。各教科の課題はもちろん、整理と対策や問題集等、計画的に学

習をしよう。1年、2年の復習を必ずやること。入試問題の3分の2は1年、2年の内容です。
 ④適度の息抜きと運動をする。気持ちと頭の切り替えが効率を上げます。
 ⑤家族とたくさん会話しましょう。家族の協力がある受験です。進路のこと、たくさん話しましょう。



